

# 2月の園だより

社会福祉法人のそみの会  
大塚保育園  
大塚子どもふれあい館  
園長 石坂 芳  
令和8年2月2日発行 No.502

月日の過ぎるものは早いもので2月に入りました。楽しいときは時間が早くすぎ、苦しいときの時間は長く感じます。2月は1年の中で一番寒い時期で空気が乾燥し、感染症が流行しやすい時期です。体調には十分気を付けて日々の生活をお送りください。

本園の入口の脇に小さな稲荷神社があり、今年の神社の祭り（初午）は2月1日です。神社の氏子が毎年初午の日には、五穀豊穡・地域の繁栄を願い、お供え物を奉納する神事を行い地域の伝統を引きついでいます。

園も神社の入り口の脇にあり、園児たちの健康で、安全な保育園生活が送れますようにお神酒を奉納しています。

さて、2月には新年度に向けて、卒園児・進級園児の送る準備、また新入園児の受け入れ準備等が控えて一年中で一番忙しい時期に入ります。

保護者の皆様も年度の切替時期でお忙しいとは思いますが、お体を大切にしてこの時期を乗り越えてください。

園長

## 2月行事予定

- |                                |                            |                |
|--------------------------------|----------------------------|----------------|
| 3日(火) 節分                       | 9日(月) りす懇談会<br>〔幼児クラス進級対象〕 | 17日(火) かぜ懇談会   |
| 4日(水) 乳児健診<br>体操のじかん〔かぜ〕       | 10日(火) ほし懇談会<br>りす・ひよこ懇談会  | 18日(水) ひかり懇談会  |
| 5日(木) リトミック〔にじ〕                | 12日(木) ゆめ懇談会               | 19日(木) にじ懇談会   |
| 6日(金) 観劇会(会場:本園ホール)<br>《劇団風の子》 | 13日(金) 誕生会                 | 20日(金) そら懇談会   |
|                                |                            | 28日(土) 新入園児説明会 |



先月の園だよりでもお知らせ致しました通り、今年度より分園は異年齢児保育が始まっていますが、来年度より本園も乳児クラスより異年齢児保育が始まります。

私達はお子さんをその学年で見るのではなく、お子さん1人1人の発達を大切に、それに合わせたクラス編成にしていきます。

その為には学年別のカラー帽子ではなく、ひよこ組ゆめ組（二ドクラス）以外は、全員同じ色のカラー帽子（藤色）を被って生活していきます。

保護者の方にはご負担をお掛けしますが購入のご協力をお願い致します。一つ千円になります。見本は各クラス前に置いてありますのでご覧ください。

懇談会の時に注文書を配布し〔申込み締切日は2/28(土)〕

3月中旬頃に事務所前にて販売をさせていただきますのでご協力ご理解の程、宜しくお願い致します。

何かありましたら事務所まで問い合わせ下さい。

### クラスコラム

#### ほしくみ



事前に餅つきの練習をしていたので本番はバッチリでした！

どちらが本物かわかりますか？

#### りすぐみ



「おしえてあげようか？」と知っているお友だちが先生役をしてくれます。

1,2歳一緒の為、お友だちの活動を見て、少し難しい行程の長いお仕事にも取り組んでいます。お仕事を頑張っているのが、公園での遊び時間が短い日があるくらい自分で活動を見つけています。

#### 幼児クラス



年明けにおもちつきをしました。お部屋で白米ともち米を見て「こっちのお米は透明で、こっちは白いね」など違いに気がつくみんな。そのあとよいよ外でおもちつき！さっき見たもち米がごはんのようになり、それがおもちに変わっていくのを「いいにおいだねー」と言いながら順番にべったんべったん。完成した後に年長さんが手におもちをたくさんくっつけながら鏡餅を作りました。今年も良い年になりますように！！



#### お知らせ

《実習生を受け入れています》

本園2名  
(1/28~2/12迄)

よろしくお願致します。

#### おねがい

先日朝、本園2階階段上がりロドア(壁側)で  
お子さんの指が挟まれてしまい出血した事がありました。

保護者の方も慌てないで、ドアの開閉をする際には壁側も見て注意しながら行っていただきますよう宜しくお願い致します。

### 《変化の速い時代を生きていける子に》

#### ◎必要なのは、未知の課題に対応していく力

今の社会を見ていると、時代の変化するスピードが、ますます速くなっていると感じられます。子どもたちが大人になるころは、社会は大きく変わっていることでしょう。大人がよかれと思って子どもにあれこれ教えても、子ども自身が生きる時代に、それが適用するとは限りません。誰かの指示を待つのではなく、自分で考えて新しい課題に対し、必要なことを自ら学びとっていける力を育てることが、今ほど必要とされている時代はないでしょう。では、自分で考えて行動する力は、どうすれば身につくのでしょうか。もし子どもが大人の指示に従い続けて20歳まで過ごしたとしたら、成人式を境に「もう大人なんだから、なんでも自分で決めなさい。」と急に言われても、それは無理な相談です。子どもが生まれてすぐから、何をするかを自分で選び、自分で自分を成長させる経験をたくさん積めるように応援する必要があります。

#### ◎自立を育てるモンテッソーリ教育

モンテッソーリ先生は、教師は従来の教育のように子どもを直接リードするのではなく、環境を通して間接的に働きかけ、援助することが望ましいと考えました。ここでいう環境とは子どもを取り巻く状況のすべてです。子どもが住む家、家の中にあるもの、周囲の自然や社会、そして親や教師も、子どもたちにとっての環境の一部です。子どもに適した環境を整えれば、子どもはその環境の中で自らのやるべきことを選び、自分を成長させていけると考えました。もちろん、大人が何もなくていいわけではありません。子どもに適した環境を整えるには、子どもを観察し、よく知る必要があります。子どもが環境とうまく関われるよう、援助することも必要です。ただし、子どもが自らやろうとしていることを邪魔したり、不必要な干渉をしないよう注意します。子ども本来の力を引き出して、自ら考え自ら学べる、自立した人間に導いていくのがモンテッソーリ教育です。

参考文献 『自分で考えて生きる力が育つ12歳までのモンテッソーリ子育て』  
野村 緑 著作